

呼吸機能測定装置

Pulmonary Function Test System

仕 様 書

FUDAC-7Plus C

調達物品に備えるべき技術的要件

(性能、機能に関する要件)

1. 呼吸機能測定装置

呼吸能測定装置は、以下の要件を満たすこと。

- 1-1 ボリューム検出方法は、ローリングシール型であること。
- 1-2 ボリュームからフローを算出する方式であること。
- 1-3 フローの測定範囲は、0～±14L/s以上であること。
- 1-4 ボリュームの測定範囲は、0～10L であること。
- 1-5 VC(肺気量分画)・FVC(強制呼出曲線)・F-V(フローボリューム曲線)・MVV(最大換気量)・MV(安静換気量)・BMR(基礎代謝)・FRC(機能的残気量)・DLco S/B(肺拡散能力)・CV(クロージングボリューム)・N2W/O(N2 洗出し法)や解析項目として換気分類、肺年齢、じん肺法検査の測定が可能であること。
- 1-6 気圧センサー・温度センサーが内蔵しており自動入力が可能なこと。
- 1-7 液晶モニターは23インチワイドモニタータッチパネル方式を採用していること。
- 1-8 SpO2 センサーを内蔵し検査中に SpO2 や PR を確認できること。
- 1-9 CO2 センサーが内蔵されており測定中に CO2 濃度が確認できること。
- 1-10 FRC 呼吸口など各パーツに分解し洗浄が可能であること。
- 1-11 DLco バルンヘッドと FRC アームが一体化し可動域に優れていること。
- 1-12 感染対策として紫外線殺菌灯が内蔵していること。
- 1-13 校正ポンプが収納できるスペースがあること。
- 1-14 天板がスライド方式でテーブルを有効的に活用できる構造であること。
- 1-15 測定時のアニメーション機能を搭載していること。
- 1-16 換気分類や COPD 病期分類、肺年齢など判定画面を一覧で確認できること。
- 1-17 ATSの基準に適合した装置であること。
- 1-18 日本呼吸器学会に則った妥当性や再現性の確認が行える機能があること。